



国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2201



URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 53-1334

〒910-0801 富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内



第2261回例会 平成26年2月4日(火)小雪

- ◆点鐘 12:30 中田 修会長
- ◆司会 久恵龍三 SAA
- ◆国歌 「君が代」 ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト 米山奨学生 ファム・ドウック・チュン君
- ◆会長の時間 中田 修会長

キスでお目覚め「お姫様細胞」小保方さんの幻の命名案 STAP(スタッフ)細胞

2012年10月8日IPS細胞を開発した山中伸弥 京都大学教授に、ノーベル生理学、医学賞を受賞されたことは記憶に新しいことですがまたまた新発見。

1月30日付の英科学誌ネイチャーに記載された新たな万能細胞「STAP細胞」は、生物学の常識を覆すニュースとして世界を駆けめぐった。

その発見までの苦労や裏話を多くのマスコミが取り上げています。その一つネットに記載されていた話題を紹介します。

新発見の「STAP細胞」はこれまでの万能細胞と異なり、眠っていた力を呼び覚まして、自ら万能化する。開発した理化学研究所の小保方晴子ユニットリーダー(30)は、「王子様にキスされて目覚めるお姫様」になぞらえた。「(名前は)プリンセス(princess)のPを細胞でどうかと思ったのですが、没になりました」と取材に小保方さんは答えておられます。

生命の種である受精卵は分裂を繰り返し、皮膚や筋肉、神経などのさまざまな組織に育つ。いったん育った細胞が、元の万能の状態に戻ることはないと言われていた。

その常識を覆した一人が京都大の山中伸弥教授だ。マウスの細胞に4遺伝子を入れて万能細胞を作り、IPS細胞と名付けた。ただ細胞の中身に手を加える。

STAP細胞は、酸性の液体に浸すだけでできる。少々荒っぽい「キス」をされ、死の淵に追い込まれた細胞が覚醒する。結局、「STAP細胞」のほうがふさわしいと採用されなかったが、小保方さんは白雪姫のようなプリンセスを思い描いていたようだ。

◆挨拶 ファム・ドウック・チュン君
みなさん今日は、福光も白くなっていますね。先週の土曜日は、中国だけでなくベトナムも旧暦のお正月でした。この時期はベトナムの企業では1週間ぐらい休みます。(遊び過ぎですね)来週10日間ぐらい故郷(ベトナム)へ帰ってきます。

本日のプログラム 2月18日(火) 第2262回 卓話

会員 松井洋司君担当

◆理事会報告

岩木貴之幹事

- ①細川前会長よりの休会届け、出席免除願いを承認しました。
- ②岡部ガパナー年度の人事について、岡部君より2016~17年度ガパナー事務所の人事を、地区幹事に澤田喜朗君、筆頭副幹事に古瀬喜八郎君、事務局長に久恵龍三君にお願いしたい。

◆幹事報告

岩木貴之幹事

- ①ガパナー月信が届いております
- ②小矢部中RCより創立30周年記念式典の案内(会長、幹事宛) 日時:3月9日(日) 14:00より クロスランドおやべにて
- ③小矢部中RCより講演会のご案内(公開) 日時:3月9日(日) 15:20より クロスランドおやべにて 講師:直前RI会長 田中作次氏 演題:ロータリーの素晴らしさ
- ④富山第四分区分大会について 日時:5月31日(土) 午前11:50 イン・アウト同時スタート 場所:氷見カントリークラブ ホスト:氷見RC
- ⑤源流セミナーin尼崎のご案内 日時:3月29日(土) 場所:兵庫県尼崎市 都ホテルニューアルカイク 開会:14:00~ 登録料:4,000円 懇親会費:8,000円
- ⑥射水、新湊RC、高岡西より例会変更のご案内。

◆2月度会員誕生日、結婚記念日祝

山田英敏親睦活動委員長
・会員誕生日 1日上坂武喜君 10日木勢博文君 14日東憲如君 24日久恵龍三君 24日川合声一君 28日古瀬喜八郎君
*代表スピーチ 古瀬喜八郎君 満60才になります。これを機に胃カメラの検査等を受けました。より一層健康に気を配っていきたい。有難うございました。



・結婚記念日 7日尾山裕和君

14日南部 勉君 20日藤田 昭君 22日松本敏博君 22日西村 孝君

*代表スピーチ 南部 勉君

39年目になります。居れば面倒、居なければ面倒。家内も恐らくそう思っていると思います。これからの人生一緒にがんばって過ごしたいと思っております。有難うございました。



◆委員会・同好会報告

○写真同好会

高野実会員

今週の8、9(日)に高岡の瑞龍寺で「冬の夜の祈りと大福市」が催されライトアップをされます。これに写真同好会で行ってきます。興味のある方は南部会員までご連絡下さい。天気予報では8日は雨で9日雪となっています。写真的には雪の日が良いのではないかと考えます。詳細は南部さんと打合せして下さい。

★ニッコニコボックス

上坂武喜委員長

- 中田修君 又、冬に戻りました。風邪をひかぬように。
- 三吉君 一昨日は18℃、今日は0℃、温度差にお身体を大切に。
- 湯浅君 今年こそ例会に参加出来る様努力します。有難う。
- 吉田君 本日卓話におつき合いして頂きますので、よろしくお願ひします。
- 中田裕君 インフルエンザ流行中です。皆様御体御自愛下さい。
- 尾山君 冬に逆もどり、早朝からスリップ事故多発!!雪道運転注意して下さい。
- 木村君 雪が少なく喜んでいましたが、今日は降りましたなあ〜。今月から家の取壊しの為、暫く仮住まいとなりました。
- 南部君 忘れてました。黒板を見て慌てて書き込みました。
- 古瀬君、久恵君、上坂君 誕生祝い有難うございました。
- 木勢君 誕生祝い有難うございます。早退します。



●(派遣について)

◎長期交換プログラムの流れについて

◆2014-15年度派遣学生の募集は8月31日に締め切れ、9月23日に選考試験が保護者同席のもとで行われました。その後数回のオリエンテーションを経て8月中旬にアメリカカナダのどちらかへ出発となります。その中には石崎博之会員のお孫さんも入っています。

◆今年度の派遣学生は10名で、アメリカ5名、オーストラリア3名、カナダ2名となっています。受入学生はアメリカ、カナダから7名、オーストラリアから2名となり派遣、受入はだいたい同人数となっています。

1月中旬には、オーストラリアより受入交換学生が来日しましたが、残念ながら当クラブには来ませんでした。

◆これまでの派遣学生の人数をクラブ別にみると、上位は金沢東57名、金沢55名、金沢西27名、富山南27名、高岡西20名となっています。当クラブは、富山県では9番目、2610地区では21番目で8名です。

◆応募資格は、①ロータリークラブの推薦するロータリアンの子弟で、出願時に高校1、2年生で、出国時に17才6ヶ月未満のこと。②帰国後は必ずホスト家庭となることとなっています。

◆過去に留学生の受入経験のある家庭が優先されます。

◆費用は、往復航空運賃は本人負担で、学費と月額8000円程度の小遣いがホストロータリークラブから支給されます。

◎留学の必要性

「留学の意義」とは、「高校生という最も多感な時期に、日本に居ては決して経験出来ない様々な体験を通じて人間的成長を促す」ことです

◎帰国学生の感想

1.異国で暮らすことで

- ・感謝の気持ちが持てるようになった。
- ・心配りができるようになった。
- ・度胸がついた。
- ・自分の意見が持てるようになった。
- ・自分から行動が出来るようになった。
- ・人生に付き物の「失敗」を数多く体験できた。

2.異国で生活し、また、海外から日本をみることで

- ・その国の言葉が不自由なく話せるようになった。(半年位で会話が出来るようになる)
- ・日本での単調な生活から抜け出し、多様な生活を体験できた。
- ・考え方の違う人々・文化があることを身をもって知った。
- ・日本の良いところ、悪いところが判った。
- ・海外では自分から行動しないと何も起きないことが判った。
- ・日本を代表する、という誇りが持てた。

3.その他

- ・将来の進路として自分が何をしたいかイメージできた。
- ・進学にも有利に成った
- ・チャンスがあるのに行かないのはモッタイナイ! 等等

◎候補学生のスポンサー方法について

長期交換学生プログラムは、ロータリアンの子弟が恩恵を享受できる唯一のプログラムです。

◎候補学生の説得について

自分から「留学に行きたい」と言い出す高校生は10人中2~3人いれば良い方です。大半は「今の生活を変えたくない」「友達と離れたくない」といった理由で留学したがないのが一般的な反応です。しかし留学した全員の学生は「親に無理やり行かされたが、留学して良かった」といっています。

◆出席報告

松本一哲委員長

| 会員数 | 2月4日出席率 | 1月21日の修正 |
|-------------|-----------------|--------------------|
| 56 (免除2) | 77.80% (欠12) | 90.91% (欠6メーク0) |

●(受入れについて)

◎留学生受入にかかる予算

受入クラブの一般的な年間予算額は60万円~80万円です。地区からは年間最大30万円の助成金が支給されます。

今度留学生を受け入れた際のホストファミリーに、吉田宅、中田裕二宅、石崎博之宅は決まっていますが、あと1軒どなたか手を挙げていただきたい。

◎交換学生を預かって楽しかったこと、よかったこと

- ・家族が交換学生のために何かしてあげようと、ひとつになれたこと。
- ・子供たちが外国の習慣や文化に対する理解を深め、外国人とふつうに交流できるようになったこと。等等



地区内受入れ交換留学生
(2013・10・六地区大会)

◎交換学生を預かって困ったことは?

- ・食事の好き嫌いがある。
- ・何でもロータリーやホストファミリーが買ってくれると思いついでいる。等等

◎交換学生を預かるホストファミリーへのアドバイス

- ・特別扱せず、家族の一員として自分の子供たちと同じように接する。
- ・極力、日本語でコミュニケーションをはかる。
- ・ホストファミリー同士で連絡を密にする。等等

◎学校関係

交換学生は毎日学校に通学しなければなりません。

- 1) 授業料、教材、クラブ活動費はクラブ負担。
- 2) 制服(夏/冬服)運動服、運動靴などはクラブ負担。
- 3) 交通費(定期代)クラブ負担。
- 4) 昼食代 弁当を持たせることを原則。
- 5) 修学旅行 年1回に限り、全額クラブ負担。
- 6) 学校への連絡 ホスト家庭が変わるときには担任の先生に連絡。等等

◎日常生活関係

- 1) ロータリー禁止条項 飲酒、喫煙、アルバイト、自動車・バイクの運転、特定異性との交遊。
- 2) 習い事の月謝 華道、茶道、舞踊、武道、日本語学校など、日本文化を学ぶために必要な習い事を、いずれか1つの月謝はクラブで負担。
- 3) 門限 ホストファミリーに任せるが、必ず守らせる。(10時頃が適当)等等

今までに、当クラブが受入れた交換学生は9名(アメリカ5名、カナダ2名、オーストラリア2名)で、派遣も9名です。ベルギー派遣交換学生は、今までに8名を派遣しており、スペイン、イタリア、オーストラリア、ルクセンブルグ、フランス、イギリス等の国を、ホームステイも交えながら約1ヶ月間かけて訪問しています。

今年度は、昨年7月に30名受入、来年は15名の派遣が予定されております。それに対して30名が応募しております。

次回の予定 2月25日(火) 第2263回
3クラブ合同懇親会 (華山温泉) 例会18:00~
合同懇親会18:30~ 会長 中田 修君担当

(今回の会報担当 井沢正生)